



横浜市立富岡小学校

学校だより 11月号



「努力はたし算、協力はかけ算」

副校長 青木 智

晴れた日の優しい日溜まり、その中を時折走り抜けていく冷たい風…。

秋は深まり、木々も色づき、銀杏・もみじの葉が舞い止まぬ頃、北国からは冬の便りも届き始めています。晩秋から初冬へと、季節の変わり目を肌で感じる頃となりました。

後期がスタートしてから3週間が過ぎました。この間にも、地域ふれあい清掃（1・3・4・6年）長浜公園遠足（1年）小中交流日（6年）野毛山動物園遠足（2年）土曜参観（全学年）金沢区音楽会（3年）など多くの行事がありましたが、どれも無事に終えることができました。

さて、私が担任をしていた時、子どもたちによく次の言葉を言っていました。それが、「**努力はたし算、協力はかけ算**」という言葉です。昨年度の学校だよりにも紹介しましたが、来年の3月終わりまで、子どもたちに意識してもらいたいという思いから、再度お話しさせていただきます。

1年生は「たし算」はわかりますね。「 $2+3=5$ 」のような計算のことです。かけ算は、まだ、1年生は習っていないと思いますが、2年生の九九で学習する「 $2\times 3=6$ 」のような計算のことを言います。

最初の「**努力はたし算**」とは、「**毎日こつこつ努力を積み重ねていくと、たし算のように少しずつ結果が積み重なっていく**」という意味です。例えば、本を1日3ページずつ読んでいくと、1日目は3ページですが、2日目には、「 $3+3=6$ 」で6ページ、3日では「 $3+3+3=9$ 」で9ページと、だんだん読み進めていくことができます。こうして100日間読み続けていくと、300ページの本を読むことになります。このように1日たった3ページでも、毎日こつこつと読む努力を続けていくと、どんな厚い本でも読み終えることができます。これが、「**努力はたし算**」です。

次に、「**協力はかけ算**」の意味です。「かけ算」は「たし算」よりも、結果が大きくなることがあります。例えば、最初の「 $2+3=5$ 」と「 $2\times 3=6$ 」も、かけ算の方が答えが大きくなります。これは、例えば男子2人と女子3人が、ある作業をするとき、そのままではたし算の「5」の結果しか現れませんが、この5人が協力して取り組むと、「 $2\times 3=6$ 」のようにたし算より大きい「6」の結果となります。つまり、「**みんなで協力して取り組むと、かけ算のように大きな結果が現れる**」ということです。これが「**協力はかけ算**」です。

「協力はかけ算」について、もう一つ面白い話をします。「3」の力で3人の人が協力して取り組むと、「 $3\times 3\times 3=27$ 」と、「27」の結果が現れ、「 $3+3+3=9$ 」のたし算より大きな結果となります。しかし、もしこの3人のうち、1人でもまったく協力しない人、つまり「0」の力しか出さない人がいると結果はどうなるでしょうか。「 $3\times 3\times 0=0$ 」と、答えは「0」になってしまいます。つまり「何の結果も出ない」ということです。みんなで協力し合って取り組むと大きな結果となりますが、たった一人でも協力しない人がいると、結果は「0」になってしまいます。ですから、みんなで協力し合うことがとても大切なのです。

「努力はたし算」。まず一人ひとりが自分のできることを、毎日こつこつと取り組んで努力していきましょう。次に「協力はかけ算」。掃除や給食、学級の係活動など、みんなで取り組む活動のときは、みんなで協力し合っていきましょう。そうすると大きな結果が生まれます。「よいこと」を一人ひとりが積み重ねていくと「たし算」のように結果が増えていきます。そして、「よいこと」をみんなで協力して行くと、「かけ算」のように、たし算よりもっと大きな結果が現れます。

ぜひ「**努力はたし算、協力はかけ算**」の言葉を忘れず、毎日を過ごしていきましょう。そうするともっと「楽しい学校」になると思います。

今後も温かいご支援・ご協力をお願いいたします。